

年 組 名前 :



春光堂書店が作製した老舗和菓子店「松林軒豊嶋家」のブックカバー 甲府市中央1丁目

松林軒の包装紙 ブックカバーに

A man with glasses and a brown jacket is holding up two book covers with blue designs. He is standing in front of a bookshelf filled with books. The text on the right side of the image is a news article about the book covers.

甲府の書店作製 中心街盛り上げへ

32(天保3)年、春光堂は1918(大正7)年に、いずれも甲府中心街で創業。松林軒銀座通り店は春光堂から30ほどどの近所にあり、富川社長が松林軒の鈴木伸吾社長(48)に呼びかけて実現した。松林軒から包装紙の提供を受け、文庫や単行本のサイズに合わせて裁断し、計約500冊分を用意した。包装紙は3年ほど前にリニューアルしたもので、白地に緑色で店名や松葉模様の店のロゴがデザインされている。

鈴木社長は「包装紙をブックカバーに使ってもらい光栄」と話し、富川社長は「遊び心がある取り組みで、互いの宣伝になればうれしい」と話す。今後、中心街の他の店舗にも呼びかけてブックカバーを開拓する考えで、富川社長は「老舗のブックカバーで中心街を盛り上げたい」と話している。

（桑原久美子）

(2026年1月16日付 山梨日日新聞15面)

間1 こうふし しゅんこうどうしょてん なに つか さくせい
甲府市の春光堂書店は、何を使ったブックカバーを作製しましたか。

問2 春光堂書店が、対象の店を選んだ理由を答えてください。

間3 春光堂書店の宮川社長は、ブックカバーを配布することで、何を期待していますか。